

八中3年人権だよ

徳島市 八万中学校
3年生 第11号
2021年6月11日
編集・文責 吉成正士

体育祭が無事開かれました。しかも全校です。そんな姿を見ていると、やっぱりいいなあと思わされます。各クラスの感想を紹介しながら、体育祭をふり返りたいと思います。

僕は練習のとき、縄跳びでまったく息が合わず、3分間はかっても、他のクラスに比べてみるとあまり跳べず、このまま体育祭をむかえてしまうのかなという不安の気持ちがありました。しかし、みんなで朝練などを繰り返していくうちに、少しずつだけれど、みんなの息が合っていき、それに続いてみんなもポジティブな声が出てきて、クラスが一つになっていったと思います。

そして体育祭当日をむかえました。そして、とうとう僕たちがとても練習をしてきた縄跳びがきました。Bチームが、練習していたときよりとても多くて跳べていて、本当にびっくりしたし、本当に頑張ってる練習した成果だと思いました。

他の競技はいい結果がとれたり、とれなかったりしたけれど、何よりみんなで楽しめたので、とても良かったと思います。最終的に3位にもなれて、とても嬉しかったです。本当にこの体育祭はクラスが一つにまとまったと思っただけ、この3-4のみんなとだったら、どんなことがあってもみんなで助け合い、のりこえることができると思いました。最後のこの体育祭は本当に楽しかったし、みんなの絆が深まった3-4の最高の思い出ができました。3-4最高!! 4組SA

人間のもつ可能性ってすごいですよね。「もうダメ」と思っても、実は限界ではなかったりする。限界ってどこまでだろうと思ってしまいます。「ここまで」と思った時点で、限界なのかもしれません。

みなさんは「ノミの話」を知っていますか？

ノミは通常、1mくらい跳ぶと言われていています。でも、30cmの箱に入れると、ノミはその高さまでしか跳べなくなってしまうのだそうです。ところが、30cmしか跳べなくなってしまうノミが、もとの高さまで跳べるようになる方法があるといいます。それは、もとの高さの1mを跳ぶ他のノミと一緒にすることだそうです。そうすると、跳べなくなったノミも元通りの高さまで跳べるようになるのだそうです。

人も自分で限界を決めてしまうと、その限界に縛られ、そこまでしかいけなくなるのかもしれません。でも限界を越えている人に出会うことで、いとも簡単に自分の限界を飛び越えてしまえる。仲間の存在や、仲間の励ましに、自分の可能性を越えていくのです。

限界を越えるかどうか、最後はみなさん次第ですが、その過程に、実は仲間は、欠くことのできない大切な存在なのかもしれません。

今日の体育祭では、僕らは実質1位だと思います！なぜなら、他のクラスより気合いが段違いにあったからです！大縄でも綱引きでもしっぽ取りでも、あとちょっと

だったけど、全員全力を出し切ったので、悔いが無いです！女子選抜リレーでは優勝してくれて、すごく嬉しかったです。合計点では3位と5点差と聞いたときは惜しすぎる…と思いました。けど、先生が黒板に大きく書いていた完全燃焼！はできたのでOKだと思います。優勝にこだわらず、負けてもニコニコ雰囲気になれる3-6は最高です！

八中祭ではまた文化の部もあり、燃焼する場はたくさんあるので、毎日全力で頑張っていきたいです！最後の選抜リレーは出たかったけど、放送委員として実況することができたので良かったです！他の行事でも全力を出して精一杯頑張ります！ 6組MR

「勝ち」がいれば、「負け」もいる。勝負の世界では仕方ないことです。でも、だからといって、それでその人の価値が決まるわけではありません。勝とうが負けようが、みんなに同等の価値がある。そのことを見失ってははいけません。

それに、表舞台に立つ「選手」もいれば、その舞台や選手を支える「裏方」もいるものです。裏方に光が当たることはあまりありませんが、それは大切に絶対に必要な存在です。人は陽の当たる輝かしい部分ばかりに目を奪われがちですが、陰の部分も必ずあります。陰と陽は表裏一体なのです。

舞台上に立つ人は舞台上に立つ人なりに、陰で支える人は陰で支える人なりに、自分のもつ役割に誇りをもち、次への自信につなげてください。

泣いても笑っても今日がラストの体育祭。練習も雨で中だったし、大縄も少し不安もあったなかで、みんなすごい緊張していたと思う。実際僕もすごく緊張していたし、足が震えていたけど、「本番は何があるかわからない」っていうのは本当だなと思った。

プログラム2番は僕ら3年生のしっぽ取り。練習では予選互角だった相手に圧勝した。自分もしっぽ取られてしまったけど、4本取ることができた。決勝は1本差で3組に負けてしまったけど、いい勝負で楽しかった。次に一番心配していた大縄だった。けど結果はいい意味で裏切った189回で、クラスベストを更新した。とても嬉しかったし、達成感が半端なかった。次に全体リレーがありました。大きな差をつけて1位になり、とても嬉しかったです。スペシャルリレーは卓球部としてはダメでしたが、とても楽しかったので、それでOKだと思いました。でも綱引きで全敗を喫し、とても残念だなと思いました。選抜リレーでは男子1位、女子4位で、見ていて迫力があり、みんな輝いていました。

結果は2位で、とても嬉しかったです。保護者もコロナ禍のなかで呼ぶことができなかったけど、全学年揃って開催できたことに喜びと感謝を忘れずにいたいです。 1組KE

喜びと感謝、その通りです。できれば保護者の方々にも、みなさんの成長した姿を見てほしかったのです

が、こればかりはどうしようもなくで…。

去年は叶わなかったのですが、今年は何とか1・2年生に、最上級生のみなさんの姿を見てもらうことができました。ありがたいことです。たまたまタイミングよくできただけかもしれませんが、いろんな方々の粘り強い、目に見えない努力や協力があったことも事実です。

こうやって全校生徒が集まれるのは、一昨年度3学期の始業式以来のような気がします。上級生の姿を見て感じて成長できる部分があります。できれば総体での姿も見てもらいたいのですが、それも難しいことになりそうです。せめて日ごろの部活で、その姿を、気構えを、勇姿を、後輩たちの目に焼きつけてもらいませんか。喜びと感謝の気持ちをこれからも引き継いでもらうために。

最初のしっぽ取りや長縄で6位、5位くらいで、「入賞できるかなあ？」と思っていました。でも長縄はいつもより多く跳べて良かったです。リレーでは同じクラスの人たちだけではなく、テニス部の後輩からもたくさん応援してもらったので、とても嬉しかったです。綱引きは今までの流れで少し心配でしたが、全勝できてすごく嬉しかったです。スペシャルリレーが一番心配していました。スタートダッシュに遅れてしまいましたが、目標は「楽しく走ること」だったので、最下位でも悔しくありませんでした。

最初は3位以上になれなくて心配していたけど、結果は3位でした。1年生の時や2年生の時は3位以上になれなかったのが、嬉しかったです。でもそれよりも、2組のみんなと力を合わせて体育祭ができたので良かったです。3年2組最高です！ 2組FK

勝つことがすべてではない。勝つことは価値あることで、意味のあることではあります。それがすべてではないとも思います。クラスのつながりのなかで、「一昨日より昨日、昨日より今日」と、たとえそれが小さい歩みであっても、一步一步前進していることを実感できれば、それが何よりも大切なことだと思います。

クラスの輪だけでなく、部活や他クラスの仲間からいただく応援は、やはり全校生徒揃っての体育祭ならではのでしょうね。

中学生最後の体育祭、優勝できて良かったです。しっぽ取りも作戦通り上手いき、長縄も150回達成しました。リレーはみんながみんなを応援し、気持ちよく終わることができました。綱引きは先生のかげ声がでかすぎて笑ってしまいました(笑)。部活対抗リレーにも出ましたが、1周が思っていたよりキツかったです。とにかく、楽しく優勝できたことが嬉しいです！

体育祭練習の最初、「長縄跳べるかな…」と不安でしたが、みんなが全力で汗をかきながら跳んでいるところを見て、3-3のために跳ぶと決めました。縄に引っかかってばかりだったけれど、本番150回いけて良かったです。先生もみんなも「一致団結」できたと思います。本当にこのメンバー、3-3で優勝できて良かったです！

3組YA

自分のクラスが1番！

結果は結果として出ますが、比べる必要なんてありません。どのクラスも、みんながそう思えることです。

新型コロナが出てくるまで、全校生徒での体育祭は当たり前前の光景でした。でも、当たり前前のことが当たり前ではなかったということに強く気づかされた1年となりました。だからこそ、勝ちにこだわりすぎることなく、心の底から「楽しむ」という原点を忘れないようにしたいものです。そして何より、みんなと力を合わせられるよろこびを、じっくり噛みしめたいと思います。

中学最後の体育祭でした!!1年生の時のように保護者の方を呼ぶことはできなかったけど、去年より大きな規模で開催することができて、本当に良かったなと思いました。

長縄は最初はなかなか上手いかわなくて、両チームを合わせても100回までいかないことばかりで半分諦めていたところもありました。でもチームを変えてから回数がすごく増えて、チームを変える前の4倍近く飛べるようになったのがすごくうれしかったです！全員リレーは6位になってしまったけど、みんなで応援できて、全員が全力で頑張れたと思うので、私からすれば優勝したようなもんです！綱引きは練習のときより多く勝つことができて、5組最高の2位を取ることができました。

1年生と2年生の種目のときには部活の後輩の応援もしました！本当にどの学年も真剣に取り組んでいただき、すごく楽しそうでした。学校全体でこれだけ盛り上がるのでできる行事はあまりないんじゃないかと思います。体育祭ができてよかったです。たくさん考えてくれた先生方、ありがとうございました！ 5組AF

世界中どこでも、どんな厳しい状況下でも、いつの時代も、子どもたちは希望を失わず、笑顔を見せられます。守られている安心感から笑顔は生まれるのかもしれないかもしれませんが、いずれにしても子どもたちの見せる笑顔は、周囲を明るく照らしてくれます。そんな笑顔に、大人たちも癒やされるのです。

みんなの元気いっぱい笑顔が、最高の贈り物です。八中での体育祭もこれで最後。一つ一つの行事が、中学校生活の最後の行事となります。みなさんの姿を、互いの姿を、慈しむように目に焼きつけましょう。

「ありがとう」と言ってくれるけど、「ありがとう」はこちらのセリフです。ありがとう。

▼△▼△▼△▼△▼△▼

いすに座って話を聴くだけが人権学習ではありません。人権学習を生かして実践するこれらすべてが、立派な生きた人権学習です。

次は人権作文発表会です。ここでも、各クラスの団結力が試されます。発表者が堂々と発表できるように、しっかりと目で応援すること。そして、頑張ってる仲間に応える発表をすること。その心の準備をしておくことです。聴いて、返す。また聴いて、返す。その繰り返しが、みなさんの絆を、もう一つ上に押し上げてくれます。週末からは総体がスタート。こちらも最後の大会でありながら、今まで応援してくれた保護者や先生方は応援に行けません。悔しいですが、どうしようもありません。そのぶん、出場するみなさん、悔いのないように、精一杯頑張ってきてください！